

平成 30 年 6 月 12 日現在

機関番号：32644

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2017

課題番号：25293474

研究課題名(和文) 保健師の専門能力と育成方策：産業分野の知見統合による学術・実践・教育基盤の再構築

研究課題名(英文) Competencies and Training Strategies for Occupational Health Nurses :
Reconstruction of Academic/Practical/Educational Bases by Adding Knowledge of
Occupational Health Field

研究代表者

錦戸 典子 (NISHIKIDO, Noriko)

東海大学・健康科学部・教授

研究者番号：10172644

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：産業保健師に必要なコンピテンシーとして具体的な知識・技術や行動様式を明らかにし、今後の育成方策への示唆を得るとともに、行政保健師のコンピテンシーに関する既知見と比較することを目的に、研究を実施した。活動場面別のコンピテンシーとして職場巡視や心理社会的職場環境改善における産業保健師の知識・技術を明らかにした。また、すべての活動に共通のコンピテンシーとして、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開に必要な産業保健師のコンピテンシーを質的研究により抽出した。さらに、保健事業の展開に必要なコンピテンシーに関する質問紙調査を行い、キャリア段階ごとのコンピテンシー活用状況ならびにその関連要因を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to clarify the competencies necessary for occupational health nurses (OHNs) such as knowledge, skills and behavioral patterns. We intended to get suggestions of future OHNs' training strategy and to compare our results with known results of competencies for community health nurses. We have revealed OHNs' competencies for 'workplace visit' or 'improvement of psychosocial work environment', as well as competencies to conduct and manage health services following the PDCA cycle by interview survey to expert nurses. Moreover, we conducted a questionnaire survey for OHNs on the competencies required for the development of health services, and clarified the competency rates and their related factors according to career stages of OHNs.

研究分野：産業保健看護学

キーワード：コンピテンシー 産業保健師 保健事業展開 行政保健師 比較・統合

1. 研究開始当初の背景

社会的な健康課題に対する保健師の更なる貢献が期待される中、保健師の専門能力およびその育成方法(基礎教育・継続教育など)に関して、近年様々な検討が行われている。その中で、自治体で働く保健師(以下、行政保健師)の専門能力(コンピテンシー)に関する研究や保健師基礎教育における到達度目標に関する研究などの体系的な研究成果が報告されている。しかし、職場・労働者を対象に活動する保健師(以下、産業保健師)の専門能力に関する研究に関しては、アメリカでの研究(米国産業看護協会,1999;以降4年ごとに改訂中)を中心に海外が先行しているのに対し、わが国では学術研究の積み上げが不足している。わが国の産業保健師のコンピテンシーや育成方法に関する科学的知見の蓄積を急ぎ、行政保健師に関する既知見と比較・統合していく必要があると考え、産業保健師に必要なコンピテンシーについての研究を企画した。

2. 研究の目的

産業保健師に必要なコンピテンシーを具体的な知識・技術・行動様式のレベルで明確化し、その育成方策についての示唆を得るとともに、行政保健師のコンピテンシーに関する既知見との比較・統合を行って保健師のコンピテンシーに関する知見を体系化することを目的として、本研究を実施した。

3. 研究の方法

(1) 産業保健師に必要なコンピテンシーに関するインタビュー調査・分析

産業保健師に必要なコンピテンシーについて、10名程度の熟練産業保健師に個別インタビューあるいはフォーカスグループインタビューを実施して、質的に分析した。その際、各コンピテンシーの大項目(「役割+できる」表現)毎に、その遂行に必要な行動様式・知識・技術・態度等が明確になるように検討した。

(2) 実践の場の産業保健師への育成プログラムの開発・実施および効果評価

上記の研究成果をもとに、現任の産業保健師(研究協力の得られているA社の産業看護職計20名程度)を対象とした教育プログラムを開発・実施し、効果評価を行った。

(3) 産業保健師への質問紙調査と分析

本研究より産業保健師のコンピテンシーとして抽出された項目に関し、その発揮状況と関連要因を明らかにすることを目標に、産業衛生関連の学会会員の産業保健師を対象とした質問紙調査を実施し、実態把握ならびに関連分析を行った。

(4) 評価に焦点化したインタビュー調査の

追加と産業保健師のコンピテンシーのまとめ

質問紙調査により課題であることが明らかとなった評価に焦点化したインタビュー調査を、産業保健師経験のある大学教員を対象に実施した。この結果を追加して、保健事業展開に必要な産業保健師のコンピテンシーの最終まとめを行った。

(5) 産業保健師のコンピテンシーに関する知見の統合

本研究により新たに明らかとなった一連の知見を統合した産業保健師のコンピテンシーモデルを作成して、産業保健師経験をもつ大学教員や実践の場の産業保健師に、その結果を提示して、妥当性・実用可能性の検討を目的としたフォーカスグループインタビュー(FGI)を実施した。

4. 研究成果

(1) 産業保健師に必要なコンピテンシーの明確化

産業保健師に必要なコンピテンシーとして、活動場面を焦点化した職場巡視や心理的職場環境改善を行う際のコンピテンシーについて、インタビュー調査と質問紙調査から明らかにしたのに続き、すべての活動に共通のコンピテンシーとして、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開に必要なコンピテンシーを、熟練保健師へのインタビュー調査により明確化した。

(2) 実践の場の産業保健師への育成プログラムの開発・実施および効果評価

上記の研究成果をふまえ、研究協力の得られているA社の産業保健師計20名程度を対象として、保健事業展開に関するコンピテンシー向上のための教育プログラムを開発・実施し、効果評価を行った。多角的なアセスメント能力等に関し、目的どおりの良好な成果が得られていることが実証できた。

(3) 産業保健師への質問紙調査と分析

本研究で得られたこれまでの知見に基づく産業保健師の役割・コンピテンシー・育成方策に関する総合的な質問紙を作成し、日本産業衛生学会に所属する産業保健師を対象に質問紙調査を実施した。得られた回答約650件に関する基本集計や単変量分析、多変量分析などの各種のデータ分析作業を行った結果、情報収集・企画・実施に関するコンピテンシーについてはキャリア段階を経るごとに向上しているのに対し、評価に関するコンピテンシーについては向上が難しいことが明らかとなった。コンピテンシー向上に向けて、社内外の研修会などが寄与していたが、特に評価に関するコンピテンシー向上には、学会での発表や研究を実施した経験などが関連していることが示された。

(4) 評価に焦点化したインタビュー調査の追加と産業保健師のコンピテンシーのまとめ

評価活動に焦点を当てたインタビュー調査を実施した結果、産業保健師に必要な評価活動を行うために必要なコンピテンシーを明確化することができた。

(5) 産業保健師のコンピテンシーに関する知見の統合

本研究で得られたこれまでの研究成果を統合し、産業保健師のコンピテンシーに関する全体像と詳細項目を結び付けたモデルを作成し、産業保健師経験のある大学教員ならびに実践の場の産業保健師から、妥当性や実用可能性に関してほぼ肯定的な意見をいただき、一部の点について微修正を行った。また、これまで蓄積されていた行政保健師のコンピテンシーに関する知見と比較・統合して、保健師としてのコンピテンシー育成に関する示唆を得た。また、産業保健師が自らのコンピテンシーに関して確認できるアセスメント表や、コンピテンシーごとの育成方策を検討する際に資する「コンピテンシー×育成方策」表を作成した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 5 件)

春日美穂、錦戸典子、産業保健師が保健事業評価を行う際に必要な専門能力、日本地域看護学会誌、査読有、21(1),4-13, 2018

錦戸典子、中小企業における健康経営と職場環境改善の普及推進に向けて～健康に生き活きと働ける職場を創る～、産業精神保健、査読無、24 巻 1-5、2016

齋藤とも子、錦戸典子、松木秀明、産業看護職による心理社会的職場環境改善支援と関連要因～必要な知識、技術、およびその育成方策に着目して～、産業衛生学雑誌、査読有、57(4)117-129、2015

岡久ジュン、錦戸典子、がん罹患した労働者への支援において産業保健師が行うコーディネーション、日本地域看護学会誌、査読有、第 17 巻第 1 号、13 - 22、2014

錦戸典子、産業看護職としてのアセスメント力を高めるための視点とスキル、産業看護、査読無、Vol.6 No.6、10-14、2014

[学会発表](計 19 件)

石川真子、錦戸典子、職場のメンタルヘルズ活動における新人期の産業看護職の課題と学習ニーズ、第 25 回日本産業精神保健学会、2018

Noriko Nishikido, Mako Ishikawa, Satoko Shimamoto, Sense of Difficulty,

Skill Retention, and Learning Strategies in Workplace Mental Health Activities by Occupational Health Nurse(2nd report)、ICOH International Congress Dublin 2018

Noriko Nishikido, Mako Ishikawa, Satoko Shimamoto, Sense of Difficulty, Skill Retention, and Learning Strategies in Workplace Mental Health Activities by Occupational Health Nurse(1st report)、ICOH International Congress (Dublin) 2018

錦戸典子、三橋祐子、島本さと子、白石知子、掛本知里、産業保健師と行政保健師のコンピテンシーを語ろう～総合理解と協働を進めるために～、第 6 回日本公衆衛生看護学会学術集会(ワークショップ)、2018

錦戸典子、島本さと子、三橋祐子、白石知子、掛本知里、春日美穂、石川真子、保健事業展開に必要な産業保健師のコンピテンシーに関する質的・量的研究成果の統合、第 6 回日本公衆衛生看護学会学術集会、2018

春日美穂、錦戸典子、産業保健師が保健事業評価を行う際に必要な専門能力、第 90 回日本産業衛生学会、2017

島本さと子、錦戸典子、石川真子、春日美穂、三橋祐子、白石知子、掛本知里、榎悦子、保健事業展開における産業保健師の専門能力の発揮状況(第 2 報)学習状況との関連、第 90 回日本産業衛生学会、2017

錦戸典子、島本さと子、三橋祐子、白石知子、掛本知里、石川真子、春日美穂、榎悦子、保健事業展開における産業保健師の専門能力の発揮状況(第 1 報)キャリア段階別の分析、第 90 回日本産業衛生学会、2017

Jun Okahisa, Noriko Nishikido, Minako Sasaki, Michiyo Ito, Etsuko Yoshikawa, Izumi Watai, Mai Mochizuki, Miyako Takahashi, Evaluation of a training program developed for occupational health nurses who provide support for workers with cancer,

31st International Congress on Occupational Health (Seoul) 2015

Noriko Nishikido, Converting Research into Practice and Putting Practice into Research Our challenges up to now and in the future、31st International Congress on Occupational Health(招待講演)(Seoul) 2015

錦戸典子、三橋祐子、山崎恭子、朱膳寺さつき、高橋孝子、豊田加奈子、榎悦子、コミュニティ・アズ・パートナー・モデルに基づく職場診断モデル・シート開発の試み、第 88 回日本産業衛生学会、2015

掛本知里、錦戸典子、榎悦子、朱膳寺さつき、三橋祐子、白石知子、山崎恭子、清水めぐみ、豊田加奈子、保健事業の企画および運営に必要な産業保健領域で活動する保健師の専門能力の構造化の試案、第88回日本産業衛生学会、2015
望月麻衣、錦戸典子、身体的な働きにくさを持つ労働者への産業看護職による就業継続支援の実施状況と関連要因、第24回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会、2014
錦戸典子、高橋孝子、山崎恭子、三橋祐子、朱膳寺さつき、榎悦子、清水めぐみ、「根拠に基づく職場アセスメントと事業提言」に焦点化した、産業看護職向け実践研修の開発と評価、第87回日本産業衛生学会(岡山)、産業衛生学雑誌、56 臨増号、2014
Noriko Nishikido, Satori Kakemoto, Kazuko Nishida, Quality management of Occupational Health Nursing Practice in Japan (シンポジスト) ICOH SC JOINT CONFERENCE 2013 (Sao Paulo)
Noriko Nishikido, Satori Kakemoto, Kyoko Yamasaki, Yuko Mituhashi, Etsuko Enoki, Satsuki Shuzenzi, Kanako Toyota, and Takako Takahashi, Evidence-based Development of a Training Program for Occupational Health Nurses in a Company, ICOH SC JOINT CONFERENCE 2013 (Sao Paulo)
岡久ジュン、錦戸典子、がん罹患した労働者への支援において産業保健師が行うコーディネーション - 復職後の支援に焦点を当てて - 第85回日本産業衛生学会(松山)、産業衛生学雑誌、55 臨増号、423、2013
斉藤とも子、錦戸典子、産業看護職による心理社会的職場環境改善の支援実態と関連するスキル、第86回日本産業衛生学会(松山)、産業衛生学雑誌、55 臨増号、343、2013
清水めぐみ、錦戸典子、産業看護職による職場巡視のスキルの認識、第86回日本産業衛生学会(松山)、産業衛生学雑誌、55 臨増号、423、2013

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕
出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

錦戸 典子 (NISHIKIDO, Noriko)

東海大学・健康科学部・教授

研究者番号: 1 0 1 7 2 6 4 4

(2) 研究分担者

山崎 恭子 (YAMASAKI, Kyoko) (~2014年度)

東海大学・健康科学部・准教授

研究者番号: 7 0 3 4 7 2 5 1

三橋 祐子 (MITSUHASHI, Yuko)

東海大学・健康科学部・講師

研究者番号: 1 0 5 8 0 8 1 3

島本 さと子 (SHIMAMOTO, Satoko) (2015年度~)

東海大学・健康科学部・助教

研究者番号: 1 0 7 5 9 1 7 9

白石 知子 (SHIRAIISHI, Tomoko)

中部大学・生命健康科学部・教授

研究者番号: 6 0 2 7 5 1 5 4

掛本 知里 (KAKEMOTO, Satori)

東京有明医療大学・看護学部・教授

研究者番号: 6 0 2 5 4 5 6 2

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

石川 真子 (ISHIKAWA, Mako)

東海大学・健康科学部・研究技術員

齋藤 とも子 (SAITO, Tomoko)

東海大学・健康科学研究科・大学院生

岡久 ジュン (OKAHISA, Jun)

東海大学・健康科学研究科・大学院生

春日 美穂 (KASUGA, Miho)

東海大学・健康科学研究科・大学院生